

事前評価書

年度	R8
整理番号	

事業名・路線名等		(単)道路改良事業 一般県道 池田大原線	事業主体	大分県
所在地		豊後大野市朝地町池田(池田工区)		
事業概要	事業の目的	沿線住民の朝地町中心部への生活道路かつ国道442号から朝倉文夫記念公園へのアクセス道路であるため、離合困難の解消により通行車両の走行性、安全性の向上を図る		
	事業内容	【計画延長・幅員】 区間延長L=1,900m、整備延長L=230m(現拡)、W=4.0(5.0)m(拡幅部)、W=5.0(6.0)m(待避所) 【道路区分】 第3種第5級 【設計速度】 V=20km/h 【計画交通量】 191台/日(R22) 【現況幅員・交通量】 W=2.5m 交通量 199台/日(R3)		
	事業費	C=130百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から5年(令和12年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 用地買収、道路工事 2年目 道路工事 3年目 道路工事 4年目 道路工事 5年目 道路工事 完成		
事業の必要性	必要性・緊急性	・幅員狭小(最小幅員2.5m)かつ視距不良といった構造上の問題があり、安全性・利便性が低く、離合が困難な状況 ・沿線住民が市指定緊急避難所(朝地公民館)へ安全・安心かつ円滑に避難することが困難		
	整備効果	・幅員狭小による離合困難かつ視距不良の解消による通行車両の走行性、安全性の向上 ・市指定緊急避難所(朝地公民館)への避難路確保 ・沿線住民の朝地町中心部や朝地ICへのアクセス向上 ・朝倉文夫記念公園へのアクセス改善により、観光を支援		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・1.5車線の道路整備のため、費用便益分析比の算出は困難であり、道路利用状況、交通の状況等から総合的に判断		
	工法の妥当性	・道路法、道路構造令に適合した工法を採用 ・1.5車線の整備手法を採用し早期の事業効果発現を図る		
	コスト縮減	・アスファルト・コンクリート・砕石は再生資材を利用する ・建設発生土を盛土材に利用する		
	環境等への配慮	・地形の変更は可能な限り小さい計画としている ・周辺の住環境に配慮し、低騒音・低振動の建設機械を使用する		
事業実施環境	事業の実効性	・豊後大野市から要望書が提出されており、市の協力体制は整っている ・地元期成会も整備を望んでおり地元の協力体制は整っている		
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき事業を実施 ・大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024」、「おおいたの道構想2024」に基づき事業を実施		
	事業の特殊性	-		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい		